

仙台市協働まちづくり推進委員会 アクションチームの検討状況について

◎市民活動サポートセンターについて

(第1回仙台市協働まちづくり推進委員会資料より)

「市民活動の促進のための拠点施設」という設置当初の目的については、これまで大きな役割を果たしてきている。今後さらに協働によるまちづくりを推進していくためには、多様なまちづくりの担い手が気軽に集まり、地域の課題解決やまちの魅力づくりに取り組んでいくための機能を充実させるなど、協働の拠点施設としてのあり方を検討していく必要がある。

1 現状と課題

- ◆サポセンは仙台市に1つしかないので、他の施設と連携する必要がある。
- ◆多様な活動と地域とをつなげるためにどのような役割を果たすべきか。
- ◆共益的な要素やビジネス的要素のある活動をどう捉えるか。
- ◆これまでの市民活動団体への支援の継続も必要。
- ◆1階にある受付の場所が、初めて来た人にわかりづらい。
- ◆施設の場所がわかりづらい。
- ◆事務用ブースのニーズが低下している。

2 今後の方向性

- ◆大きな市民活動団体や長く活動しているところなどは、知識が豊富なところもあるので、どういう団体向けの支援とするのか、ターゲットを絞って考えるべき。
- ◆自立から創発へつながるような活動への支援をすべき。
- ◆サポセンが取り組むテーマや施策の優先順位を決めるといいのではないかな。
- ◆既成概念にとらわれずに、全国の手本として広がるようなことができるといい。
- ◆サポセンの機能強化について、アイデアコンテストをすれば、サポセンのことを知る機会ともなり、仙台ならアイデアがたくさん出るのではないかな。
- ◆アイデアがある程度決まった時点で、それを実現するためのメンバーを市民から集めれば、関係者が広がる可能性がある。
- ◆いきなり市民カフェやワークショップというものではなく、まずは8月～9月あたりに市民活動実践者などからアイデアをもらってはどうか。
- ◆サポセンは、他自治体の施設と比べても立地がとても良いというところをもっと生かすべき。
- ◆前回の委員会後の現地見学の際の意見でもあったように、目を引く看板があるといいのではないかな。
- ◆施設での情報発信には映像などを取り入れてもいい。
- ◆1階に人が集まれるような雰囲気のある場所があるといい。(カフェコーナーなど)
- ◆1階にまちづくりの仲間を増やせるような、気づきの生まれるようなスペースがあるといい。
- ◆何がベストなのかについて十分時間を取って話し合ってもいいのではないかな。